

「高低差」地形ウォーク第5回

天井川とともに

住吉

2023年2月16日

<参加メンバー> 6人(男性4人、女性2人)

<天候> 曇り

<コースタイム>

阪急岡本駅 9:45~10:40 保久良神社~11:37 野寄の大石~
12:10 水災祈念碑~12:25 山田公園(昼食) 12:50~12:52
灘目の水車~13:10 弓弦羽神社~13:35 元住吉神社~13:57
沢の井~14:20 白鶴酒造記念館~14:56 菊正宗酒造記念館、櫻
正宗記念館、浜福鶴~16:35 阪神魚崎駅 約14Km

<山行の概要>

古くからこの地域は芦屋川、住吉川などの洪水により六甲花崗岩の風化した砂礫や砂などが大量に運ばれ堆積した扇状地が広がっており、その末端には宮水が湧き出し灘五郷の酒造りにつながる。その扇状地の起伏を感じながら、古代から瀬戸内海を行き交う船の安全を願う燈台「灘の一つ火」の保久良神社から海側へ下った。うすら寒い曇り空だったが最後は灘の酒で身も心もほっこりした一日となりました。(Gi)



阪急岡本駅を出発



保久良神社への登り



灘の一つ火。昔はかがり火だった。



保久良神社の主祭神(椎根津彦命)



保久良神社拝殿への参道



拝殿前の磐座。祭祀用か。



拝殿前の紅梅



野寄の大石



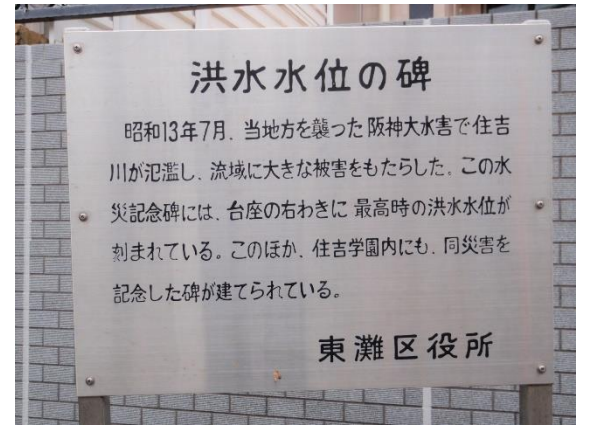
地球の歴史の一証人。成り立ちは不明。



地中にどれくらい続いているか？



水災記念碑は五助堰堤への途中にある



洪水水位の碑

昭和13年7月、当地方を襲った阪神大水害で住吉川が氾濫し、流域に大きな被害をもたらした。この水災記念碑には、台座の右わきに 最高時の洪水水位が 刻まれている。このほか、住吉学園内にも、同災害を 記念した碑が建てられている。

東灘区役所



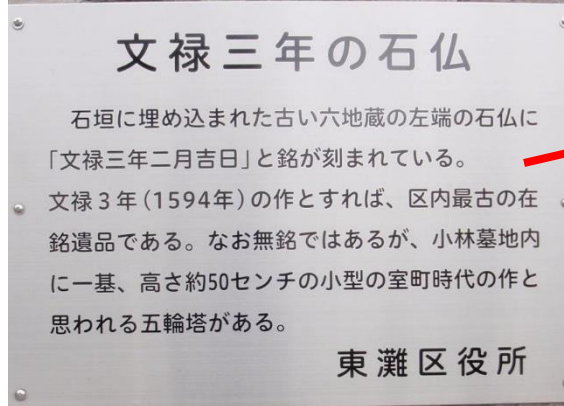
洪水は深い谷を埋め台座にまで達した



灘目の水車のマンホール



灘目の水車。当時は 88ヶ所あったとのこと



文禄三年の石仏

石垣に埋め込まれた古い六地蔵の左端の石仏に「文禄三年二月吉日」と銘が刻まれている。
文禄3年(1594年)の作とすれば、区内最古の在銘遺品である。なお無銘ではあるが、小林墓地内に一基、高さ約50センチの小型の室町時代の作と思われる五輪塔がある。

東灘区役所



路傍の石仏たち、いにしえを語る。



弓弦羽神社。羽生結弦ファンの聖地とか



シンボルマークは八咫鳥。矢に乗っている。



サッカー界とは縁が深い



元住吉とは大阪の住吉神社のルーツとか





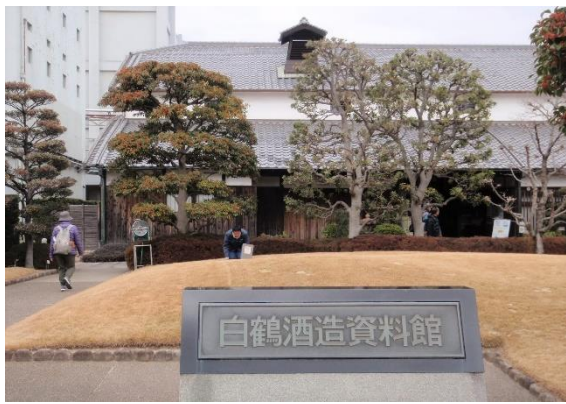
沢の井、今日のウォーキングの白眉。



沢の井。扇状地の砂礫層をとおして湧き出る



井戸端会議？



白鶴資料館



資料館内部の展示



3種類無料試飲できる。無人で自動注入



菊正宗の塀



菊正宗の玄関。格調高い。



櫻正宗の玄関カーペット



櫻正宗は3種類の有料試飲



浜福鶴「秘蔵酒」



住吉川の河川敷をって



阪神魚崎駅へ